

令和6年度 京都府高等学校柔道選手権大会（団体試合）  
兼 第47回 全国高等学校柔道選手権大会（団体試合）京都府予選  
兼 第66回 近畿高等学校柔道新人大会（団体試合）京都府予選  
（主催 京都府高等学校体育連盟柔道専門部・亀岡市柔道連盟）  
実施要項

- (1) 日時 令和5年11月9日（土）
- |         |             |
|---------|-------------|
| 会場準備    | 12時～        |
| 受付・計量   | 会場準備終了後～13時 |
| 顧問・審判会議 | 13時30分～14時  |
| 開会      | 14時         |
- (2) 会場 亀岡運動公園体育館 亀岡市曾我部町穴太土湊 33-1 (TEL 0771-25-0372)
- (3) 申込締切日 令和5年10月9日（水） 必着 抽選日持参は不可
- (4) 申込先 〒604-8851 京都市中京区壬生上大竹町13 京都両洋高等学校 松井 元 宛  
(TEL 075-841-2025 FAX 075-841-0178)
- (5) 抽選日時 令和5年11月5日（火）17時  
及び場所 京都先端科学大学附属高等学校 (TEL 075-461-5105)  
※顧問または代表生徒は可能な限り出席して下さい。  
※オーダー表を必ず提出して下さい。試合当日も可。
- (6) 参加料 1校1チーム 5,000円
- (7) 参加資格
- イ. 参加選手は、平成18年4月2日以降に生まれたもので、令和5年4月以降当該学校の在校生であること。
  - ロ. 同一学年での出場は1回限りとする。最上級生の出場はできない。
  - ハ. 転入生については、転校後半年未満の者は出場できない。但し、一家転住の場合はこの限りではない。
- ニ. 京都府高等学校体育連盟柔道専門部に加盟している学校および全日本柔道連盟に登録している選手で、身体に異常なく、学校長より出場を許可された者であること。
- ホ. 選手変更については全国高等学校柔道選手権大会に準ずる。
- (8) チーム編成
- A. 男子の部  
1校1チーム（監督1名 選手6名）
  - B. 女子の部  
1校1チーム（監督1名 選手3名 補欠2名）  
女子配列 先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別  
※補欠は該当する階級に出場できる。

## (9) 試合方法

### A. 男子の部

- イ. 国際柔道連盟試合審判規定ならびに京都府高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
- ロ. 試合時間は3分間とする。
- ハ. 「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
- ニ. トーナメント戦で行う。
- ホ. 各チーム間の試合は、点取り試合とする。ただし、近畿大会出場決定戦のみ勝ち抜き試合とする。
- ヘ. 試合は各チーム5名で行う。試合毎のオーダーの変更を認める。
- ト. トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
  - (a) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - (b) (a)で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - (c) (b)で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - (d) (c)で同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は代表選手を任意に選出して行う。代表戦の「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とし、試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が1以下の場合、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。

※ 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。

### B. 女子の部

- イ. 国際柔道連盟試合審判規定ならびに京都府高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
- ロ. 試合時間は3分間とする。
- ハ. 「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
- ニ. トーナメント戦で行う。
- ホ. 各チーム間の試合は、点取り試合とする。
- ヘ. 試合は各チーム3名で行う。試合毎のオーダーの変更は行わない。
- ト. トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
  - (a) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - (b) (a)で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - (c) (b)で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - (d) (c)で同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は「引き分け」対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。代表戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、「引き分け」対戦がない場合は、両者「反則負け」などで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

※ 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

## (10) 参加上の注意

- イ. 顧問の付き添いのない学校は大会参加を認めない。
- ロ. 選手の変更は、顧問会議までに別紙選手変更届を事務局長へ提出すること。

## (11) 計量(女子)

大会当日、本計量に1回で合格した者でないと試合に出場できない。なお、予備計量の時間については本計量前に確保する。

(12) 全国大会の出場

男女ともに優勝チームは、京都府の代表として全国高等学校柔道選手権大会（団体試合）に出場できる。

(13) 近畿大会の出場

男女ともに上位6チームは、京都府の代表として近畿高等学校柔道新人大会（団体試合）に出場できる。

(14) 個人情報の取り扱いについて

イ. 大会参加に際して提供された個人情報は厳重に管理し、下記の利用目的以外に利用しない。

(利用目的) ・プログラム、WEBページへの掲載  
・参加チーム、大会関係者、報道機関への提供

ロ. 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関して選手・保護者・学校関係者から承諾を得たものとする。

(15) 会場準備及び後片付け 参加者全員で行う。